

当院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	貯血式自己血採血より調整した自己フィブリン糊（クリオシール）組成の検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	（所属）輸血部 （職名）教授 （氏名）中山 享之
研究の対象となる方	2025年9月から2025年12月までに手術に使用する自己フィブリン糊を作成した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2027年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕 臨床側の使用感は問題ないとのことだが、200mL自己血採血より調整した自己フィブリン糊（クリオシール）について、臨床現場で使用する際のエビデンスとするため、フィブリノゲン値などのデータを確認することを目的とします。</p> <p>〔利用方法〕 通常診療の検査で得られた結果を利用します。（ヘモグロビン、凝固検査結果、自己血より調整された自己フィブリン糊調整量）またクリオシール調整後、わずかにキッドに残った製剤を回収し、フィブリノゲン値を測定します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕 非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：調整キッドにわずかに残った自己フィブリン糊（クリオシール）</p> <p>情報：診療情報（診断名、ヘモグロビン、術式等）、凝固検査等検査データ等を電子カルテより収集</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年4月30

は提供を希望しない 場合	までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報 の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院輸血部 担当者：技師長（氏名）片井 明子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 36212）